

第二回JCIS主催インターナショナルスクール日本語研修会

「内容重視型の教育とは一教科の枠を超えて」

日時:2013年2月2日(土)8時30分-17時 申し込み締め切り 2013年1月25日(金)

会場:ニューインターナショナルスクール <http://newis.ed.jp>

日程

8:30-8:50	開場、受付 Arrival
8:50-9:10	オープニング Opening
9:10-10:30	大蔵守久先生(波多野ファミリースクール) Keynote Speaker 1: Morihisa OKURA 『内容重視型の教育とは』
10:30-10:45	休憩 Break
10:45-11:25	大蔵先生 Keynote Speaker 1
11:30-12:30	善元幸夫先生(立教大学) Keynote Speaker 2: Yukio YOSHIMOTO 『教科の中の漢字教育』
12:30-13:25	昼食 Lunch
13:30-14:15	善元先生(実践) Keynote Speaker 2
14:15-15:15	分科会 Breakout session① 1. 幼稚園、保育園(preK ages 3~4) 2. 小学校低・中学年(Grades K~2, ages 5~7) 3. 小学校中・高学年(Grades 3~5, ages 8~10) 4. 中学・高校(Grades 6~12, ages 11~18)
15:20-16:00	総会 Plenary Session②
16:00-16:20	閉会 Closing
16:20-17:00	交流会 Socialization

①分科会では、皆様の積極的参加を期待しています。「内容重視型の教育とは」というテーマに沿った実践例や漢字教育の実践例を紹介して頂き、共有します。参加者の皆様は各自、実践例をご持参ください。

また、教材や実物がなくても、口頭のみやアイデアのシェアでも構いません。進行役は、時間配分を考慮し、分科会を進めます。記録係は、シェアされたアイデアや、話し合いたい点を用紙にリストアップします。

②総会では、分科会で出た意見や質問などを基に、基調講演の先生方からお話を伺います。

<参加費(昼食、軽食代込み)>

JCISメンバーの学校教員:2000円、その他の参加者:4000円

関連団体のブース設置を歓迎します(無料)。また、教材の販売ブースは1ブースにつき5,000円で設置できます。

詳細についてお問い合わせください。

Email conference@newis.ed.jp 電話 03-3980-1057

ABOUT THE KEYNOTE SPEAKERS

基調講演の紹介

おおくらもりひさ

大蔵守久 一般財団法人 波多野ファミリスクール 執行理事

小学校の教員を経て同財団の国際学級に勤務。69か国 1200人の小中学生に日本語と教科を指導した。現在は、同財団の執行理事を務める傍ら、国や教育委員会等の講師、文科省や文化庁の委員なども務めている。

著書は『日本語学級』1・2・3(凡人社)、『日本語授業おもしろネタ集』1・2(凡人社)、『JSL理科の授業作り』(スリーエーネットワーク)などがある。また、東京外語大のサイトに5か国語に翻訳された算数ダウンロード教材も提供している。

本日のテーマ『内容重視の日本語指導』について一言。一般的な指導法では確かに内容に興味を湧かさない。しかし、外国語に興味のある者にとっては「なるほど」と思う題材であり、その意味で「内容の濃い」授業になる。つまり、「内容があるかどうか」は、学習者にとって興味をもてるかどうかであり、学習者の興味に合った題材で授業をすればよいということだ。しかし、問題が二つある。大人数の場合、個々の興味の把握は不可能だ。そして、もう一つは「別にこれといった興味がない」学習者の場合だ。これらの場合、どの学習者にも共通して興味を有しているであろう題材で授業をせざるを得ない。では、どうするか。その解決の糸口を本日の話で見つけていただけたら嬉しく思う。

よしもとゆきお

善元幸夫 立教大学、目白大学、琉球大学非常勤講師

1973年東京学芸大学教育学部を卒業し江戸川区立葛西小学校(日本語学級)で中国・韓国からの残留孤児2世の孤児に日本語教育を行い、日本語学級研究会を組織し、子どもたちの進路保障に力を注ぎ高校入試の改善をおこなった。「地域化をめざすアジアの国際理解教育」の必要性を感じ、1995年「日韓合同授業研究会」を作り、日本・韓国・中国の国際交流研究会を開催し、現在にいたる。

2003年新宿区立大久保小学校日本語国際学級に赴任し、ニューカマーの子どもたちの教育を担当する。民族のアイデンティティの保全を大切に日本語の教材開発に専念し、都の日本語教育のテキスト2巻を作成した。特に漢字教育には力を注ぎNHK テレビやラジオ、雑誌などで学習メソッドを提案し、地方での講演にも力を入れている。「漢字のおもしろさを知らないで死んでしまったら人生もったいない」が信条である。現在琉球大学、立教大学、目白大学の非常勤講師で国際協力や教育学を担当している。

著書に『カリキュラム改革としての総合学習5 地域と結ぶ国際理解』(アドバンテージサーバー)、『国境をこえる子どもたち』(社会評論社)、『今、教師は何をすべきか』(小学館)などがある。

本日のテーマについて一言。「おもしろくなければ、学校ではない！ 『詰め込み』の極致が漢字教育。漢字は表意文字、世界でたった一つしかない文字。ここには人間の知恵や文化がたくさん詰まっています。おもしろさが楽しみに、そして賢さにつながります。ぜひ漢字空間の体験を！」

FAIRLY INEXPENSIVE HOTELS WITHIN EASY WALKING DISTANCE TO THE SCHOOL
(Contact directly for reservations: There is no conference rate.)

会場へのアクセスのよいホテル(必要に応じて、直接ご予約ください。)

Keio Presso Inn Ikebukuro 京王プレッソイン池袋 tel. 03-5396-0202
<http://plan.presso-inn.com/cms/ikebukuro/>

Hotel Resol Ikebukuro ホテルリソル池袋 tel. 03-3985-9269
<http://www.resol-ikebukuro.com/>

Ark Hotel アークホテル tel. 03-3590-0111
<http://tokyo.ark-hotel.co.jp/>

Daiichi Inn Ikebukuro 第一イン池袋 tel. 03-3986-1221
<http://www.hankyu-hotel.com/hotel/diikebukuro/index.html>

参加申込書

2013年 JCIS主催インターナショナルスクール日本語教師研修会

(フリガナ)

氏名: _____ 申し込み日 _____

学校名: _____

その他の所属先: _____

連絡先 e-mail: _____

電話番号: 学校または所属先 _____

学校での役職(当てはまる場合)

教員: ___ JSL ___ 国語 ___ JSLと国語 ___ その他の教科()

教えている児童生徒の学年または年齢: _____

学校管理職: _____

その他: _____

* 分科会の希望に○を付けてください。

1. 保育園・幼稚園 (preK ages 3~4)
2. 小学校低・中学年 (Grades K~2, ages 5~7)
3. 小学校中・高学年 (Grades 3~5, ages 8~10)
4. 中学・高校 (Grades 6~12, ages 11~18)

* 分科会では、皆様の積極的な参加をお願いしています。以下の役割にチェックをしてください。どの役割でも構わない場合は、空欄でお願いします。

() 進行役 () 記録係 () 発表者

* 分科会の数は、希望人数により増減する可能性がございます。

* 分科会での実践例の紹介で、会場に用意して欲しいものがあればお書きください。(例: プロジェクターなど)

その他: ベジタリアン食をご希望の方は、○を付けてください。()

申し込み先: Email jconference@newis.ed.jp または Fax: 03-3980-1154